



その補修に
求められたのは、
積年の情緒を残す
メンテナンス。



耐候性鋼 Super C.F.C-N(P) 仕上で 2011 年に竣工した東洋文庫のパネルは、数年前に全体のメンテナンスを行いました。メンテナンスの基本方針は、「メンテナンスをしたかどうか分からない物」。つまり、経年変化を残す事が最重要であり、新品の様に綺麗に見えてはダメということ事・・・そこが一番の苦心でした。

仕上技術を集中し、最終的には「見事だ」と言っていただける仕上りになりました。

写真は 2019 年 12 月に撮影。メンテナンスからも数年が経ちますが、風合いをさらに重ねています。

DATA

施設名：東洋文庫ミュージアム

所在地：東京都文京区

材料：耐候性鋼板

納入製品：パネル